

4 パソコンを設定しよう。

「Windows 2000/NT」「MacOS 8.x/9.x」「MacOS X 10.1.x以降」の設定方法を解説します。

Windows 2000/NT

- [スタート]を押し、[設定]から[コントロールパネル]を選びます。
- 表示された画面の[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリック(「カチカチ」とマウスの左ボタンを2回押す)します。
- 表示された画面の[ローカルエリア接続]を右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]を選びます。
- 表示された[ローカルエリア接続のプロパティ]画面の[全般]タブを押し、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をチェックして、[プロパティ]を押しします。
- 表示された[インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]画面で、[IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]をチェックして、[OK]ボタンを押しします。
- [ローカルエリア接続のプロパティ]画面に戻ったら、[OK]を押しします。
- ①の手順でもう一度[スタート]を押し、[設定]から[コントロールパネル]を表示し、[インターネットオプション]をダブルクリックします。
- 表示された[インターネットのプロパティ]画面の[接続]タブを押し、[ダイヤルしない]をチェックして、[OK]を押しします。これでインターネットに接続するための設定が完了しました。

MacOS 8.x/9.x

- [アップルメニュー]→[コントロールパネル]と進み、[TCP/IP]を押しします。
- 表示された画面で、経路先に[Ethernet]を選びます。
※AirMacをご利用の場合は[AirMac]を選んでください。
- 続いて設定方法に[DHCPサーバを参照]を選び、[DHCPクライアントID]と[検索ドメイン名]を空白にして、画面を閉じます。
- 確認画面が表示されたら[保存]を押しします。これでインターネットに接続するための設定が完了しました。

MacOS X 10.1.x以降

- [アップルメニュー]または[Dock]から[システム環境設定]を選びます。
- 表示された[システム環境設定]画面にある[ネットワーク]を押しします。
- [ネットワーク]画面が表示されたら、場所は[自動]、表示は[内蔵Ethernet]を選びます。
- [TCP/IP]タブを押し、[設定]で[DHCPサーバを参照]を選び、[DHCPクライアントID]と[検索ドメイン名]を空白にして、[今すぐ適用]を押すと設定は完了です。これでインターネットに接続するための設定が完了しました。

5 動作確認をしよう。

それぞれの手順に従って機器の接続が終わったら、正常に動くかどうか、確認しましょう。

ネットサービス

- インターネットランプが緑色点灯していることを確認してください。
- パソコンでWWWブラウザ(Internet Explorer等)を起動し、外部のホームページを開きます。
例) <http://www.kddi.com>

電話サービス

すべての機器の電源を入れ、受話器を持ち上げてください。「ツー」という音がしたら、正しく接続されています。

【いまと同じ電話番号を使用するお客様】 (番号ポータビリティをする)

およそ1週間の間にNTT等(従来加入先)による切替工事が完了し、ホームゲートウェイの電話ランプが緑色点灯すると、電話サービスのご使用が可能になります。

※緑色点灯するまでは従来加入先の回線を利用して、電話をご利用いただけます。
※機器の接続から1週間が経過しても緑色点灯しない場合は、KDDIカスタマーサービスセンターにご連絡ください。

【新しい電話番号を使用するお客様】

ホームゲートウェイの電話ランプが緑色点灯したら、正しく接続されています。

TVサービス

- テレビの電源をいれて、テレビの画面表示を「ビデオ入力」に切り替えます。
- セットトップボックスの電源コードをコンセントに差し込みます。*
- テレビの画面表示にしたがって、セットトップボックス本体の電源ボタンを押します。
- 起動中の画面が現れ、しばらくすると(約5分ほど)トップメニュー画面が表示されます。*

※1:テレビや出力端子に接続したスピーカー等の音響機器の破損を防ぐため、電源コードを差し込む前にボリュームを最小にしてください。
※2:初めて起動する時は、バージョンアップが行われることがあります。画面の指示に従ってください。
※正しく動作しなかった場合は「取扱説明書」の困ったときのQ&Aをご覧ください。

ランプの色や光り方で、各機器の動作状況がわかります。以下で、機器ごとに解説します。 ※詳細につきましては、各機器の取扱説明書をお読みください。

ホームゲートウェイ

- 更新ランプ**
●緑色点灯 装置とセンター間で通信中です。
●黄色点灯 装置とセンター間の通信を準備中です。
- 通信ランプ**
●緑色点灯 データの送受信をしています。
●赤色点灯 データの送受信をしていません。
- インターネットランプ**
●緑色点灯 インターネット接続ができる状態です。
●赤色点灯 インターネット接続ができない状態です。(アドレスの未取得)
●消灯 ネットサービスが契約されていないか、契約手続き中です。
- 電話ランプ**
●緑色点灯 電話サービスが利用できます。
●赤色点灯 電話サービスが利用できません。
●消灯 電話サービスが契約されていないか、契約手続き中です。
- 電源ランプ**
●緑色点灯 電源が投入されています。
●消灯 電源が切れています。

セットトップボックス

- 接続ランプ**
●緑色点灯 正常に接続されている状態を示します。
●赤色点灯 主電源(AC電源)投入後、しばらく点滅します。
●消灯 スタンバイ状態を示します。
- 電源ランプ**
●緑色点灯 各種処理中です。しばらくお待ちください。
●赤色点灯 本機が起動している状態を示します。
●黄色点灯 自動バージョンアップ機能を実行している状態を示します。主電源(AC電源)投入後、本体前面の電源ボタンを押下を待機している状態を示します。
●消灯 サービスをご利用になるための設定が完了していない状態を示します。
●消灯 スタンバイ状態か、電源が切れています。
- リモコン受光部**
●消灯 リモコンからの信号を受信します。

ONU

●ONUは以下の3台のうちいずれかの機器が設置されますが、機能は同じです。予めご了承ください。

- 電源ランプ**
●緑色点灯 電源が投入されています。
●消灯 電源が切れています。
- 光入力ランプ**
●緑色点灯 光ファイバ信号を正常に受信しています。
●赤色点灯 光ファイバ信号の受信なし、または受信しているがエラーしています。
- 通信ランプ**
●緑色点灯 ひとつ以上のロジカルリンクが確立しています。
●赤色点灯 ロジカルリンク確立中です。
●消灯 ロジカルリンクが確立されていません。
- ホームゲートウェイランプ**
●緑色点灯 リンクアップが確立しています。
●赤色点灯 通信中です。
●消灯 リンクダウン中です。
- 100Mランプ**
●緑色点灯 100Mbpsで確立しています。
●赤色点灯 リンクダウン中、もしくは10Mbpsで確立しています。

三菱電機製

- 電源ランプ**
●緑色点灯 電源が投入されています。
●赤色点灯 電源が切れています。
●消灯 故障しています。
- 光入力ランプ**
●緑色点灯 正常に動作しています。
●赤色点灯 動作準備中、または故障が発生しています。
- 通信ランプ**
●緑色点灯 正常に動作しています。
●赤色点灯 動作準備中、または故障が発生しています。
- ホームゲートウェイランプ**
●緑色点灯 100BASE-TXでリンクが確立しています。
●赤色点灯 10BASE-Tでリンクが確立しています。

NEC製

- ホームゲートウェイランプ**
●緑色点灯 リンク確立中です。
●赤色点灯 通信中です。
●消灯 リンクダウン中です。
- 通信ランプ**
●緑色点灯 正常に動作しています。
●赤色点灯 動作準備中
●消灯 動作していません
- 光入力ランプ**
●緑色点灯 正常に動作しています。
●赤色点灯 動作準備中、または故障が発生しています。
- 電源ランプ**
●緑色点灯 電源が投入されています。
●赤色点灯 起動中
●消灯 電源が切れています。

6 接続方法のヒント & オプション

ご使用の加入電話回線(NTT等)がISDN回線の場合。

▶ **ひかりOneでも現在と同じ電話番号を使用する場合** (番号ポータビリティをする場合)

●モジュラージャックとホームゲートウェイの間に、DSUとTA(ターミナルアダプタ)またはDSU一体型TA(ターミナルアダプタ)を接続します。これで電話が使用できます。

▶ **ひかりOneで新しい電話番号を使用する場合、同時にNTT等の加入電話を引き続き使用する場合** (番号ポータビリティを契約されなかった場合)

▶ **電話サービスは契約せず、NTT等の加入電話を引き続き使用する場合**

●モジュラージャックと電話機との間に、DSUとTA(ターミナルアダプタ)またはDSU一体型TA(ターミナルアダプタ)を接続します。これで電話が使用できます。

2契約目の電話サービスを利用する場合。

▶ **お申込み(別途料金)により、KDDIから追加でホームゲートウェイをお届けします。** また、KDDI推奨のHUBも必要になります。別途ご注意ください。

※KDDI推奨HUB: オートネゴエーション機能とMDI/MDI-X自動認識機能を搭載したスイッチングHUB

複数台のパソコンを使用する場合。

▶ **最大6台までのパソコンが同時に接続できます。**

●ホームゲートウェイ1台に、5台までのパソコンが接続できます。6台のパソコンを接続したい場合は、KDDI推奨のHUBを別途ご購入ください。

※KDDI推奨HUB: オートネゴエーション機能とMDI/MDI-X自動認識機能を搭載した、スイッチングHUB

- 接続するパソコンのうち、1~4台目はLANポートとホームゲートウェイの[LAN1~4(紫)]を、別途お客様でご用意いただいたLANケーブルで接続します。
- 別途ご購入いただいたKDDI推奨のHUBとホームゲートウェイの[LAN5(紫)]を、別途ご購入いただいたLANケーブルで接続します。
- 接続した5台目以降のパソコンは、ご購入いただいたKDDI推奨のHUBに接続します。

※HUBの接続ポートや使用ケーブルについては、HUBの取扱説明書をご覧ください。

2台のセットトップボックスでTVサービスを利用する場合。

▶ **お申込み(別途料金)により、KDDIから追加セットトップボックスをお届けします。**

- 以前から設置していたホームゲートウェイ[LAN1~5(紫)]の空いているポートとKDDIから届いた追加のセットトップボックス[100BASE-TX(紫)]をLANケーブルで接続します。
- 追加セットトップボックスの[出力端子(赤)(白)(黄)]とテレビをAVケーブルで接続します。これで2台目のセットトップボックスでTVサービスが利用できます。

※TVにS端子がある場合、映像はS端子でつなぎ、音声(赤・白)はAVケーブルでつなぐこともできます。その場合は、AVケーブルの映像(黄)はつなぐなくても構いません。

※接続に使用するケーブルを長くすることで、2台のテレビを別々の部屋に設置することも可能です。

※別の部屋にある部屋の[LAN差込口]に空きがある場合、そこにセットトップボックスとテレビを接続・設置して見ることもできます。

※HUBの接続ポートや使用ケーブルについては、HUBの取扱説明書をご覧ください。